

令和2年度第2回学校給食あり方検討会			
日時	令和3年3月23日(火)15:00 ~ 16:00		
場所	教育委員会会議室		
出席者	学校給食あり方検討会委員		
	区分	委員名	団体
	保護者代表	濱添 なおみ	長崎市 PTA 連合会
		松本 光生	
		林田 米蔵	
		大脇 俊明	
		松尾 裕司	
	教育委員	小原 達朗	教育委員会
		桑原 亜矢子	
	学校教育関係者	山田 圭二	小学校校長会
			役員等
			会長
			副会長
			副会長
			副会長
			副会長
			教育委員
			教育委員
			副会長 (諏訪小学校長)
内容	<p>事務局</p> <p>橋田教育長、前田教育総務部長、井上学校給食センター整備室長、田中主事、田崎</p> <p>1 (仮称)長崎市三重学校給食センター整備状況について</p> <p>2 中部及び南部の学校給食センターについて</p> <p>3 学校給食センター整備に関する単位 PTA への説明について</p>		
事務局	今回の議事録は、長崎市のホームページへ掲載したいと考えている。		
事務局	(教育長あいさつ)		
	<p>1 (仮称)長崎市三重学校給食センター整備状況について</p> <p>2 中部及び南部の学校給食センターについて</p> <p>3 学校給食センター整備に関する単位 PTA への説明について</p> <p>(1・2について資料説明)</p>		
委員	P2(6)アの地元雇用について、参加者が約 80 名ということだが実際に雇用される人数は何名程度か。		
事務局	調理・洗浄合わせて事業者としては 40 名としているが、午前中のみや午後のみ、フルタイムと勤務時間を分けるため、雇用する延べ人数は 40 名よりも多くなる。		

委員	野母崎小中は、最終的に南部の学校給食センターから配送することになっているが、児童が減ってきたとしても三和共同調理場からの配送ということにはならないのか。
事務局	三和共同調理場と南部の学校給食センターの両方から配送が可能である場合は、衛生管理の高い南部の学校給食センターから配送したいと考えている。
委員	台風などで通れなくなったりするので、学校給食センターよりも近くにある三和共同調理場からの配送が良いのではないかと意見が地元からでてくるのではないかと思う。
事務局	学校の児童生徒の推移が今後変わってくる可能性があるので、推移を確認しながら検討していきたい。
委員	P2(6)イの食材納入業者との協議について、野菜高騰などで大量調理の場合、メニューに制約が出てくると思うので、適正価格で量を確保できる生産者と委託契約を行い納入する考えはないのか。
事務局	学校給食センターからの配送になっても、食材の発注は長崎市給食会を通して行う。食材発注を行いやすくするため、長崎市では現在7つの献立区に分かれている。学校給食センターも献立区の考え方はそのままで、(仮称)長崎市三重学校給食センターは8,000食だが4,000食の2献立とし、食材が不足することがないように献立区を分けたい。野菜の価格高騰等における対応については学校給食センターとは別に今後検討していく必要があると考えている。
委員	生産者育成・保護という観点からも貢献できると思うので、検討していただければと思う。
事務局	前提として、納入形態が学校給食センターに変わって、現在納入している業者が納入できなくなることは避ける必要がある。現在納入している業者の意見も聞きながら、生産者育成等との兼ね合いも考えなければいけない。
委員	(仮称)長崎市三重学校給食センターの名称決定の時期はいつごろか。
事務局	条例で定める必要があり、住所決定後となる。名称については他都市を見ても東部や西部、第1、第2、第3など、配送エリアや建設順による特性が分かるような名称が多いので、同様に名称を検討したい。時期としては、令和3年9月議会と考えている。
委員	実際に建設されないと住所表示ができないということか。
事務局	建設が進み玄関の位置がはっきり確認できる状態になった後に住所表示が可能となる。
委員	戸石小などでは地元の漁協から提供されたふぐが給食で提供されていたりしていたが、今後、学校給食センターの食育はどうなるのか。

事務局	学校給食センターになっても献立作成や食育は栄養教諭が行う。大量調理になることで食材に制限が出てくると思うが、献立内容や食育について栄養教諭で検討していくことになる。
委員	ふぐの提供などは今後どうなるのか。
事務局	配送校全域の小中学校への提供は難しくなる。
事務局	今年度はコロナの影響で食材の納入先が減ってしまったので、給食費とは別の国や県の予算で地元の魚や肉を給食に提供することができた。来年度以降はどうなっていくのかは、まだわからない。学校給食センターになると食数が増えるので、ふぐの提供をするというのは難しくなってしまうかもしれないが、提供できないか検討したい。
委員	給食での提供は難しいかもしれないが、家庭科や総合学習で地元の食材を調理するなど何らかの形で続けていく必要があると思う。 P2(5)ウの交通対策について、具体的にどのような見直しがされたのか。
事務局	団地側から国道に出ていく際に、国道の車がひっきりなしに通行しているので、朝の7時～8時にかけて特に団地側に渋滞ができていた。国道に歩行者用信号があり、歩行者が横断する時に国道側の信号が赤に変わり、車が止まるので、その際に団地側から車が出やすいという状況になっていた。そのため、7時～8時の間は歩行者がいなくても歩行者用信号を切り替わるようにしていただき、国道側の車両が止まることで団地側から国道へスムーズに通行できるよう緩和がなされた。学校給食センターではその時間帯に食材が納入されるので、交通対策により渋滞の緩和がなされた。
事務局	地元の方にも要望活動をしていただいた。信号機の設置は難しいとのことなので、前後の信号と連動するようにし、制御ができるようになった。
委員	P3 アレルギー対応専用食器について、喫食の際は専用食器から給食用の食器に移し替えるのか。
事務局	アレルギー対応専用食器で配送することは決まっているが、給食用の食器に移し替えるのかは決まっておらず、栄養教諭の準備検討会において検討している。移し替えることで間違えて食べる危険性があるので、慎重に検討を行っている。
委員	アレルギーの児童生徒ごとに食器の色を変えたり、名前を貼るなどの対応をするのか。
事務局	アレルギー専用容器を児童生徒ごとにかごに入れて給食を配送する。調理業者、配送業者、学校で受けとる人が確認するような仕組みになっている。
委員	他都市では、アレルギー専用食器から移し替えたりしているのか。 新年度になってから、栄養教諭で様々な事項について検討を行っていくことになるのか。

事務局	<p>現時点でもワーキンググループや準備検討会においてどのようにしたら安全に給食を食べることができるか検討を行っており、新年度になってから最終決定を行うことになる。</p> <p>他都市の状況は確認していないが、長崎市内の小中学校ではアレルギー専用食器のままのところや給食用の食器に移し替えたりと対応がバラバラなので、学校給食センターでの対応については検討していきたい。</p>
委員	<p>栄養教諭の配置について、ある学校では2名配置になっており学校給食センターができるための配置であると思われるが、配置について周知をして欲しい。</p>
事務局	<p>学校給食センターの栄養教諭は供用開始が年度途中であり、途中からの配置は難しいため4月の段階で配置されている。</p>
委員	<p>令和4年1月供用開始だが、除去食、代替食はいつから始まるのか。また、何品目が対象になるのか。</p>
事務局	<p>除去食は供用開始時点からで、品目は11品目になる。ピーナッツやそばは使用しないこととなっているため、実際は9品目になる。</p>
事務局	<p>代替食は半年後を目途に開始する。除去食と代替食を同時に始めると新たな施設、新たな体制となり混乱を招くことになるので、最初は除去食から開始することになる。</p> <p>(3について資料説明)</p>
委員	<p>一度説明した中学校区に対しては説明しないのか。</p>
事務局	<p>一回説明させていただいたので、再度説明はしないと考えている。</p>
委員	<p>前回から期間が空いているので、まったく説明しないのではなく、会長も変わっているそれぞれの会長にでも伝えて欲しい。会長の中にも来年度から学校給食センターが供用開始するのを知らない方もいらっしゃると思う。</p>
事務局	<p>例えば市P連総会で全会長に説明する場をいただけないか。</p>
委員	<p>来年度は総会を開催しようと考えているのでその場は提供できる。</p>
委員	<p>通常は保護者に対して学校を通してプリントを配布する。学校給食センターができることでどのように変わるのか配布していただければ一番の周知になると思う。</p>
事務局	<p>プリントでの周知と市P連総会での説明など、今後市P連とご相談しながら進めさせていただきたい。</p>

令和2年度第2回学校給食あり方検討会議事録

事務局	前回の説明から期間が経っており、保護者も変わっていることから説明方法を検討したい。
委員	校長会もメンバーが変わっており、長崎市の給食のあり方や課題についても知らない職員がいるので、大きく変更がある場合には周知をしていただきたい。
事務局	ご意見について参考にさせていただきたい。